



林業福島

No. **692**

題字 公益社団法人福島県森林・林業・緑化協会
会長 齋藤卓夫



4

2022

監 修 ■ 福島県農林水産部
表紙の写真 ■ 八重桜咲く作業場



豊かで活力ある森林を次の世代へ

公益社団法人福島県森林・林業・緑化協会

会長 齋藤卓夫

公益社団法人福島県森林・林業・緑化協会の運営につきましては、日頃よりご支援、ご協力をいただいておりますことに厚く御礼申し上げます。

さて、この三月十一日で東日本大震災から九十一年が経過しました。震災と原発事故の大きな影響を受けた森林・林業の復興・再生は、関係者の皆様の懸命な努力はもとより、多大なるご支援を頂いて歩みを進めてまいりました。しかしながら、森林・林業の再生を成しとげ豊かな暮らしを取り戻すためには、二年目となる「第二期復興・創生期間」においても、林業関係団体が一体となって森林整備の推進や風評の払拭、林業担い手の育成、きのこ類の生産振興など様々な課題に引き続き取り組み、本県森林・林業の復興・再生を実感できる実効性のある事業を積極的に展開する必要があります。

また、国においては、カーボンニュートラル実現に向けた森林の整備や林業の振興、更には、激甚化する災害に負けない「防災・減災、国土強靱化のための五か年加速化対策」が実施されています。県においても、今後の施策の基本的方向を示す「福島県農林水産業振興計画」の初年度に当たり、林業人材育成拠点「林業アカデミーふくしま」の長期研修講座がいよいよ開講されます。

公益社団法人である当協会は、広範な会員により構成される県内最大の林業団体として、県や市町村、関係林業団体等と密接に連携し、林業を取り巻く情勢の変化を見据えた事業展開を図ることとし、ふくしま復興のシンボルとして平成三十年に行われた全国植樹祭や全国林業後継者大会の成果が次の世代に確実に継承されるよう、「キラリ！森林づくり」をキャッチフレーズに、人づくり（森林整備の推進と森林・林業の振興）、心づくり（緑化の推進）、産地づくり（きのこ類の振興）及び県土づくり（測量設計調査等の実施）の四つの柱で多様な事業を積極的に展開してまいりますので、皆様の一層のご支援・ご協力をよろしくお願いいたします。

《も く じ》

とびら

豊かで活力ある森林を次の世代へ

公益社団法人福島県森林・林業・緑化協会

会長 齋藤卓夫…1

令和4年度県林業関係当初予算…2～6

福島県もりの案内人及び

福島県グリーンフォレスターについて…7

シリーズ「新たな森林づくり」①……………8

森林管理署メモ……………9

木連だより……………10

木の文化を育む③⑦……………11

木材市況・ふくしま東西南北……………12

はなしのひろば・お知らせコーナー……………13

令和四年度県林業関係当初予算

福島県農林水産部

新しい福島県農林水産業振興計画及び令和四年度予算について

▼森林計画課

1 はじめに

平成二十三年三月十一日の大震災・原子力災害から十一年が経過し、東日本大震災からの復旧・復興は、海岸防災林の整備や林地・林道等の復旧がおおむね完了し、素材生産量についても震災以前の水準に回復、森林整備とその実施に必要な放射性物質対策による森林再生を図るなど、復旧・復興の歩みが着実に進んできた一方で、未だ多くの市町村で野生きのこの等の出荷制限が継続しているなどの課題も多く残っています。

加えて、新たな脅威である新型コロナウイルスの感染拡大や人口減少が地域経済の活力の低下や地方創生、農林水産業の振興に対応する施策の展開が必要となっています。こうした中、令和四年度から令和十二年度までの九か年の新たな福島県総合計画（以下「総合計画」とい

う。）が令和三年十月に策定され、農林水産分野の各政策の基本方向を明らかにするため、新しい福島県農林水産業振興計画（以下「振興計画」という。）を令和三年十二月に策定しました。

2 新しい福島県農林水産業振興計画の策定について

人口減少や高齢化等社会経済情勢が著しく変化を続けている中で、東日本大震災・原子力災害からの復興を果たし、県民のいのちと地域経済を支える農林水産業・農山漁村が更に発展していくために基本目標を『もうかる』『誇れる』共に創るふくしまの農林水産業と農山漁村』と定め、四つの目指す姿の実現に向けた六つの施策展開方向を示しています。

施策の展開方向

(1) 東日本大震災・原子力災害か

らの復興の加速化

- (2) 多様な担い手の確保・育成
- (3) 生産基盤の確保・整備と試験研究の推進
- (4) 需要を創出する流通・販売戦略の実践
- (5) 戦略的な生産活動の展開
- (6) 活力と魅力ある農山漁村の創生

3 振興計画における森林林業の施策の展開方向

六つの政策展開方向の中で、森林林業の重点的な施策は、森林整備の推進、広葉樹林（きのこ原木林）の再生、担い手対策、大径材の活用、森林資源の適正な管理、林道等路網の整備、山地災害の防止、病虫獣害対策などとし、令和四年度より振興計画に基づき具体的な取組を進めてまいります。

特に「多様な担い手の確保・育成」

の施策に位置づけられている「林業担い手の確保・育成」においては、本県の林業が将来にわたり持続的に発展することができる成長産業とするため、令和四年四月に本格開講する「林業アカデミーふくしま」において、新規林業就業者の確保・育成に重点的に取り組んでまいります。

なお、計画の実現のためには、農林水産業に関わる人だけでなく、様々な方々が、地域や業種を超え、それぞれ主体的に参画し、農林水産業・農山漁村を創り上げていくことが重要であり、皆様のご協力をお願いいたします。

4 令和四年度予算について

令和四年度予算はプランの六つの「施策の展開方向」を柱に編成し、森林林業関係予算は下表のとおりです。

主なものとして、「東日本大震災・原子力災害からの復興の加速化」については、「ふくしま森林再生事業（四、三八五、七五二千元）」、「多様な担い手の確保・育成」については、「林業人材育成事業（四〇八、六六九千元）」、「活力と魅力ある農山漁村の創生」については、「森林とのきずな事業（二二、九七八千元）」に取り組んでまいります。

5 各施策の森林林業予算概要に ついて

福島県農林水産業振興計画の六つの施策展開方向のうち、森林林業関係において重点的に取り組む四つの施策展開について、主な予算概要をご紹介します。

森林・林業・木材産業の予算額（当初） （単位：百万円）

区 分	R 4 当初	R 3 当初	増減額	増減率
予 算 額 計	17,433	17,877	△ 444	97.5%
一般事業費	8,663	8,462	201	102.4%
公共事業費	8,770	9,415	△ 645	93.1%
一般公共	6,845	7,141	△ 296	95.9%
県単公共	1,925	2,274	△ 349	84.7%

（注）予算要求は、林業費（職員費、試験研究費を除く）と林業災害復旧費の合計を計上

一、東日本大震災からの復興の加速化

◆放射性物質除去・低減技術開発事業（森林林業） 二五、六三三千元

安全・安心な林産物生産のため、放射性物質除去・低減技術等を開発し、成果を迅速に現場に普及します。令和四年度は、放射性物質の林産物・特用林産物への影響の実態把握と、吸収・抑制・低減技術の開発による生産者支援技術を確認するため、次の調査研究を行います。

- ア 山菜類の放射性物質汚染動態の把握と汚染低減対策
- イ 県産きのこの放射性物質汚染低減対策
- ウ 県産きのこの放射性物質汚染メカニズムの解明
- エ コナラ等立木の汚染実態に関する研究
- オ コナラ等立木の放射性Cs移行要因等に関する研究
- カ コナラ等広葉樹の利用促進に関する研究
- キ 森林内における放射性物質動態把握調査事業

◆ふくしま森林再生事業

原発事故以降、放射性物質の影響により間伐等の森林整備が停滞し、森林の荒廃が懸念されることから、公益的機能の維持増進を図る森林整備とその実施に必要な放射性物質対策を行い、森林の再生を図ります。

四、三八五、七五二千元



土砂の移動を抑える丸太筋工

- ① 事前調査や森林所有者の同意取得等
- ② 整備前後における空間線量率の測定
- ③ 土砂移動抑制対策（丸太筋工の設置等）
- ④ 森林整備（間伐、更新伐等）
- ⑤ 路網整備（森林作業道の開設等）

◆広葉樹林再生事業

六三〇、八〇四千円

放射性物質の影響によりきのこ原木や薪炭用原木の指標値（原木として利用可能な放射性物質濃度）を超える原木林については、原木の生産が停止し、次世代への更新に必要な伐採が停滞していることから、萌芽更新（ぼうがこうしん）を促す伐採を行い、きのこ原木林等広葉樹林の再生を図ります。

- ①事前調査や森林所有者の同意取得等
- ②更新に必要な伐採、植栽及び下刈
- ③路網整備（森林作業道の開設等）
- ④萌芽枝等の放射性物質濃度調査等



切り株から発生した萌芽枝

◆放射性物質被害林産物処理支援事業

業 九三三、六七二千円

木材加工の工程で発生する樹皮（バーク）については、原発事故前は燃料や肥料等として利用されていましたが、放射性物質の影響から産業廃棄物として処理せざるを得ない状況であるため、製材工場等の木材事業者が安定した事業活動を行い、製材品等の林産物が円滑に流通されるよう、当該処分経費の一部を支援します。また、バークの利用拡大に向けた新たな利用方法の開発や利用に際しての安全性の検証の支援などを行います。

- ①汚染樹皮処理支援事業
（貸付）六三一、〇七二千円
（補助）二九四、六〇〇千円
- ②樹皮利活用安全性検証事業
八、〇〇〇千円

◆安全なきのこ原木等供給支援事業

二七五、五〇一千円

本県は震災前までは全国有数のきのこ原木の供給地でしたが、原発事故による放射性物質の影響により、きのこ原木の生産は大きく落ち込み、その他の栽培きのこの生産資材も運搬経費の掛かり増し等により価格が高騰するなど、生産者にはその調達コストが大きな負担となっています。

このため、栽培きのこ生産者の経営意欲が減退しないよう、きのこ栽培に必要な生産資材の円滑な調達に取り組み団体に対して支援を行い、生産者の負担軽減を図ることにより、本県栽培きのこの生産振興を推進します。

◆里山再生事業 三〇、五六〇千円

住民が身近に利用してきた日常的に人が立ち入る里山において、住民が安心して利用できる里山の環境作りを推進します。また、里山再生事業における事業効果を検証し、地域住民の安全・安心を確保するため、空間線量率等の測定を行います。

①森林整備及び路網整備

②放射性物質対策

③空間線量率調査



◆森林環境モニタリング調査事業

一〇五、〇〇〇千円

県内の民有林を対象に、森林内の空間線量率や立木、土壌に含まれる放射性物質濃度の調査、実証及び結果の評価・解析等を行い、森林における放射性物質対策を推進するため必要な情報整備を行います。





二、多様な担い手の確保・育成

◆林業人材育成事業

四〇八、六六九千円

本県の人工林の半数以上が五〇年生を越え、資源が充実し収穫期を迎えています。

今後、森林の公益的機能を維持しつつ資源活用を行うために、適切な森林資源の管理を担う林業人材を育成するため、林業研修拠点施設の整備を行うとともに、研修拠点における研修「林業アカデミーふくしま」

を実施します。

① 地方創生林業研修拠点整備運営事業
三一七、二六〇千円

② 林業研修拠点整備運営事業
九一、四〇九千円

◆林業就労環境整備支援事業（森林環境譲与税）
三三三、五一七千円

本県の森林は、東京電力福島第一原子力発電所事故に伴う放射性物質の影響を受け、森林整備や林業生産活動が停滞するとともに、新規林業就業者が減少し、若年労働者の就業後の定着率も低くなっています。

このため、本県の森林再生や林業・木材産業の成長産業化の実現に必要な林業人材を確保するために、就労環境の改善や労働安全の確保及び林業事業者等の調査分析に関する事業を行います。

① 林業就労環境整備支援事業

二一、五五四千円

② 木こりの安全確保推進事業

七、〇〇三千円

③ 林業事業者等リサーチ事業

四、九六〇千円

三、生産基盤の確保・整備と試験研究の推進

◆福島イノベ構想に基づく林業先端技術展開事業（3Dスキャナ等

搭載ドローンと深層学習を活用した帰還困難区域等の森林資源利用システムの開発）
八六一千円

原発事故の影響により森林施業が停滞している旧避難指示区域等の森林において、作業員の被曝を低減して効率的な森林施業を提案するためには、森林内の詳細な線量分布や森林資源情報の把握が必要です。

このため、3Dスキャナや線量計を搭載したドローンによる森林情報の取得技術や深層学習（AI）を活用し、樹種別の材積、単木毎の樹形や位置、詳細な線量マップ等を解析するシステムを開発します。また、構築したシステムや解析した森林資源情報を現場で容易に活用するための方法も検討します。

◆林道整備事業（林道整備事業、林業専用道整備事業）
一、九八六、九五七千円

森林の有する多面的な機能の高度な発揮に向けた森林整備や効率的かつ安定的な林業経営の確立に資する

林内路網の促進、また、林業就業者の多くが居住する山村地域の快適な生活環境の向上、災害時の代替路となる林道の整備、機能の向上を図ります。

① 林内路網の幹線となる林道の開設
② 林道を補完し一〇ト積程度のトラックが走行できる林業専用道の開設

③ 災害時の代替路となる林道の整備
④ 既設林道の局部的改良の支援



林業専用道を利用した木材輸送

四、活力と魅力ある農山漁村の再生

◆森林とのきづな事業

一一、九七八千円
震災や原子力災害発生以降の森林の現状に対する県民の理解を深めつつ、森林づくり意識の浸透や拡大を図るため、森林環境に関する情報を収集するとともに、森林の現状や福島県森林環境税を活用した県産材利活用及び県民参画による森林づくりの情報を発信する。

また、森林環境の適正な保全や持続可能な社会づくりを進めるため、森林認証制度の普及PRと認証取得を補助する。

さらに、新たに社会の担い手となる二〇歳前後の青年を対象に、福島県の森林に対する関心と理解の拡大を図るため、県内の大学等におけるサークル活動など、グループによる森林に関する自己学習活動を支援する。

◆森林情報（クラウド）活用推進事業（森林環境適正管理事業）

一一、九九六千円
森林情報の管理と業務の効率化、市町村等との情報共有を図るために導入した「ふくしま森林クラウドシステム」及び一般向け森林情報地図サイト「ふくしま森まっぷ」等の保守・運用を行います。



森林クラウド



森まっぷ

◆治山事業（復興創生）

一一、二九三、六八〇千円
当該事業は、東日本大震災の津波により失われた保安林の機能を確保（回復）するため、多重防御の一環として海岸防災林造成を実施する事業です。

事業内容は東日本大震災の津波被害を踏まえ、保安林の津波防災機能を強化することとし、林帯幅について、市町の復興整備計画に基づき概ね二〇〇以上に拡大するとともに、盛土により地下水位から三層程度の植生基盤を確保し、クロマツ等の植栽

により「粘り強い海岸防災林」を整備しています。

◆治山事業（一般治山事業）

四七四、一八八千円
当該事業は、森林の維持造成を通じて山地に起因する災害から県民の生命・財産を保全することや、水源かん養、生活環境の保全・形成等を図ることで、安全で安心できる豊かな事業です。

事業内容は、山地災害等による被害の防止及び水源地域等の保安林の機能を維持強化するため、溪流や山腹斜面の安定に向けた治山ダム工、土留工等の施設の整備や植栽、森林の造成等を行い、荒廃地及び荒廃危険地等の復旧整備を実施するものです。

令和四年度の治山事業では、令和元年東日本台風の被災地復旧や森林の機能強化に加え、防災・減災、国土強靱化対策等に取り組みます。

◇大津波による被害前後の状況（南相馬市鹿島地区）



福島県もりの案内人及び 福島県グリーンフォレストスターについて

福島県森林計画課

「福島県もりの案内人」は、森林の大切さを県民に広く伝えるため、四季の森林とふれあい、共に学ぶボランティアの指導者として県内各地で活動しています。

もりの案内人は、県が平成九年度から認定をしており、令和四年三月末現在六一〇名となっています。

もりの案内人になるためには、「もりの案内人養成講座」を受講していただきます。講座は全二五単位で、福島県の森林環境や森林文化、森林づくりの基礎から活動の実践を想定した企画立案など、森林づくり活動に関わる様々な知識や手法に触れることができます。

全講座を修了し、認定試験に合格した方をもりの案内人として認定しています。

「福島県グリーンフォレストスター」は、県民参加の森林づくりを推進し林業の重要性を広く伝えるため、森林整備と安全確保に関する高い知識と技術を兼ね備えたボランティアによる指導者として、県が平成十五年

から認定しており、令和四年三月末現在一三二名となっています。

グリーンフォレストスターになるためには、「グリーンフォレストスター養成講座」を受講していただきます。講座は八日間で、森林施業やチェン

ソーの安全な取扱いなどについて学ぶことで、専門性の高い知識と技術を身に着けることができます。

講座修了後、五日間以上の森林整備ボランティア指導の経験を積み、認定試験に合格した方をグリーンフォレストスターとして認定しています。

令和三年度は、もりの案内人十五名、グリーンフォレストスター二名の方が認定を受けました。これまで認定された方々によつ



グリーンフォレストスター養成講座



もりの案内人養成講座

て、特定非営利活動法人福島県もりの案内人の会及びふくしま・グリーンフォレストスターの会が立ち上げられており、会としての活動に取り組むほか、県や市町村、学校等からの要請に応じて活動を行っています。また、会員間の交流を通して、技術や指導方法のスキルアップを図っており、今後も継続して森林とふれあうイベントや林業体験など各種活動での活躍が期待されます。

シリーズ「新たな森林づくり」① 多面的機能の維持向上に向けた取組

一般造林（復興創生）事業 福島県森林整備課 県南農林事務所

1 はじめに。森林整備って何？

森林に人の手を加え、健全で活力ある森林をつくりあげる。
森林に対して人が積極的に働きかけて、森林の持つ多面的機能を引き出す。

これが森林整備の考えです。

森林は、人の手を加え適切に管理することが必要であることから、地元からの要望や現場の課題に対応するため様々な補助事業を実施しております。

今年度、八回に渡って、各種補助事業を活用した取組と合わせて、現場の技術的な課題や工夫等について紹介してまいります。

2 紹介する補助事業は…

今回紹介する事業は、「一般造林事業（復興創生）」です。復興創生という言葉が入っているとおり、国庫補助金の一部に復興特別会計予算が組み入れられています。

3 事業内容

(1) 補助対象森林

民有林（一施行地の面積が〇・一畝以上）を対象に、森林所有者等が行う植栽・下刈りから除間伐など一連の森林施業を支援する制度で、国庫補助事業の「森林環境保全直接支援事業」を活用しています。

(2) 令和四年度予算額

五六三、八〇〇千円

4 取組事例の紹介

県南農林事務所管内埴町

○実施概要

伐採した県行造林跡地において、一般造林事業（復興創生）を活用し、再造林を推進した事例を紹介いたします。

- ・ 実施場所…埴町大字台宿地内
- ・ 植栽面積…八・九五畝
- ・ 樹種…スギ（コンテナ苗）
- ・ 時期…令和三年度
- ・ 植栽密度…二、〇〇〇本／畝
- ・ 補助額…五、五五〇千円

県行造林は、県が土地所有者と契約を結んで造林を行い、契約満期に達したときに、立木を伐採して販売し、収益を分け合うものです。立木を伐採した跡地は、森林の有する多面的機能の維持向上のため、もう一度木を植えて、森林に育てることが大切ですが、立木を販売した収益だけでは植栽や下刈り等の保育費用が十分とはいええず、再造林が進みにく

このため、当事務所では、土地所有者や伐採・造林事業者に当該事業の活用を働きかけ、再造林を支援することとしました。

○技術面での工夫

森林所有者の植栽や保育の費用負担が課題となっておりことから、その解決に向け、事業による支援と合わせ、低コスト化や省力化につながる打合せを行いました。

まず、植栽にはコンテナ苗を用いることとしました。コンテナ苗は、従来の苗（裸苗）に比べ、植栽時に乾燥にさらされにくく、根が傷まない特徴があり、植栽する時期を長く

設定できます。また、苗木の初期生長が早いので、下刈の回数を減らすことができます。

次に、植栽密度を一般的なヘクタール二、五〇〇本から、二、〇〇〇本植えに変更しました。こちらは保育間伐の回数を削減し、収穫までの費用をできる限り少なくする効果が期待できます。

今回紹介した取組はまだ始まったばかりです。今後は、現地の状況を確認し、関係者からの意見等を聞きながら、よりよい取組につなげていきたいと考えています。



コンテナ苗（スギ）



植栽地（R4.3月上旬撮影）

森林管理署メロ

会津森林管理署の お薦め国有林



◎はじめに

林野庁では、優れた自然景観など魅力ある国有林を「日本美しの森 お薦め国有林」に全国で九三箇所選定しております。会津森林管理署管内にはそのうち全国最多となる五箇所が選定されており、豊かな自然を森林レクリエーションの場として国民の皆様にご利用していただくため整備を行っておりますので紹介させていただきます。



1.背炙山から望む猪苗代湖



2.蓋沼



3.沼沢湖



4.達沢不動滝



5.スキー場から望む磐梯山

1 会津東山自然休養林

会津盆地と猪苗代湖を隔てる背炙山に広がる自然休養林です。山頂からは会津盆地を見渡すことができ、飯豊山、磐梯山、猪苗代湖などの雄大なパノラマが楽しめます。

2 蓋沼自然観察教育林

蓋沼（ふたぬま）は会津美里町の蓋沼森林公園内にあり、沼の中央にある大きな浮島（長径約七五メートル、短

3 沼沢湖自然観察教育林

沼沢湖は、金山町にあり、約五六〇年前に火山の噴火によりできたカルデラ湖です。沼沢湖を囲んだ、外輪山の惣山、前山の尾根には遊歩道が整備されており、ブナ、ミズナラ、ヒメコマツ等の新緑や紅葉が透明度県内一と言われ、神秘的な色を漂わせる湖面に四季を美しく映し出す様子は、足を止めずにはいられません。

4 達沢不動滝風景林

猪苗代町達沢地区にある瀧で、高さ一〇メートル、幅一六メートルにわたり、一枚

5 裏磐梯デコ平スポーツ林

吾妻連峰の西大嶺（一、九八二メートル）の南斜面に広がる高原（北塩原村）で、冬はスノーリゾート地として、また春から秋には湿原やブナ原生林のトレッキング・登山を通じて四季折々の景色を満喫できます。

◎結びに

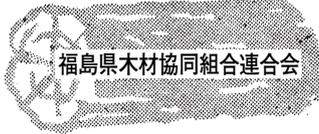
現在、全世界で新型コロナウイルスによる感染が広がっており、大勢で外出する機会も減ってきている現状ですが、この先、終息に向かい、福島県内のレクリエーションの森に以前の活気が戻ることを願いつつ、引き続き地域振興に心を配りながら、それぞれの状況に応じた森林や施設の整備を計画的に行ってまいります。

径約四〇メートル）は、福島県指定天然記念物に指定されており、原始のままの状態で湿原植物が保存されています。また、モリアオガエルやハツチヨウトンボ、サギソウ等の動植物をみることが出来ます。

岩の黒い岩肌を一枚のカーテンのように流れ落ちる福島県を代表する瀧です。

木連だより

**内装木質化がもたらす効果
その4 まとめ
(令和二年度内装木質が小児患者等に及ぼす影響効果調査より)**



令和二年六月RC造から木造(縦ログ構法 木材使用量 二七六・一九立方尺)に改築したクリニックを対象(対象施設の概要 参照)に内装木質が医療スタッフ・来院者にもたらす効果の実証を行いました。これまで来院者の施設に対する評価やRC造から木造・木質内装に改築したことによる子供の行動変化・病院スタッフの施設に対する評価について、報告させていただきました。今回は、この調査・分析の結果を報告します。

(1) 来院者(保護者)の施設に対する評価は、受付や待合室はじめ施設全体の雰囲気・快適性の評価など、RC造の旧診療所と比較して改築された木造・木質内装の診療所の方が高い評価となりました。

■旧病院概要	■新病院概要
<ul style="list-style-type: none"> ・延床面積：約520.07㎡ ・機能：診療所+病児保育 ・竣工年：1986年 	<ul style="list-style-type: none"> ・延床面積：654.81㎡ ・機能：診療所+病児保育 ・竣工年：2020年

対象施設の概要



待合室

(2) 来院者(保護者)から見た子どもの行動の変化については、スリッパや上履きを履かなくなったことや待合室で壁や床に触れることのほか、よく遊び、よく本を読むといった行動変容が見られるとの意見があり、木造・木質内装が小児の心理・行動にも良い影響を与えていることが推察できました。おそらく免疫力にも良い影響を与えていると思われれます。

(3) 診療所で働くスタッフの評価も全体として高評価ですが、特に、開放性、広さ、明るさ、見た目や暖かさなど木質内装が影響する項目が高評価となりました。



*** 菊池医院施設概要**

- 施主：医療法人 仁寿会
- 所在地：郡山市本町
- 工事概要：W造2階のべ654.81㎡
- 木材使用量：縦ログ55.58㎡、その他構造材220.61㎡
- 設計者：スマートウエルネスタウンペップ
モトマチプロジェクト

木の文化を育む³⁷⁾

宝を守り次世代へつなぐ

(NPO法人) 裏磐梯エコツーリズム協会

郡山女子大学 生活科学科 建築デザイン専攻 准教授 阿部 恵利子

○はじめに

明治二二年、磐梯山の噴火により、北塩原村やその周辺地域には、松原湖や五色沼をはじめさまざまな湖沼群が生み出されました。周辺には美しい山々が連なり、雄大な自然環境に恵まれています。また、松原・裏磐梯地区は昭和二五年、国立公園に指定されており、自然が織りなす景観は県内有数の観光地として多くの人々を魅了しています。

○地域の宝を次世代へ

NPO法人 裏磐梯エコツーリズム協会では、四季折々の自然や次世代に伝えていきたい歴史・文化を発見し、地域資源としてその魅力を多くの人々に伝える活動を行っています。会長 眞野眞理子さんは「このような活動は、次世代への継承や地域づくりと一体のものです。既存のさまざまな団体や個人がつながる仕組みをつくり、一緒にこの地域の宝を掘り起こして提供していくこと、またその魅力を地域振興に結び付けていくことが必要です。」と、地域の自然を保全すると共に、観光を主

軸とした持続可能で豊かな地域づくりを目指した活動を日々推進しています。

○磐梯の宝発見講座

同協会では、「学ぼう・伝えよう・守ろう・裏磐梯」を合言葉に、『ばんだいの宝発見講座』（エコツーリズムカレッジ）を開催し、地域の自然や文化を掘り起こし磨き伝える事業を行っています。観光地としての魅力を掘り起こし、それを学び、守り、伝える活動は地域の魅力を発信する人材育成にもつながっています。

○木地玩具「守り狐」

北塩原村の松原・早稲沢界隈では、かつて木地師たちがブナの木の端材で木工玩具「守護狐」を自作していました。この守護狐に込められた木地師たちの思いを汲み取り、「自然を愛する心」や「家族が仲良く暮らす心」などを託すものとして、同協会では地元有志とともに「守り狐」木地師の里プロジェクトを立ち上げました。「守り狐」の製作には、村で伐採された間伐材を使用し、心を込めて一体ずつ手塗りを行っています。

す。また、イベント等では絵付け体験プログラムとして、無塗装品に絵付けをする体験販売も行っています。

○裏磐梯の資源を守る

裏磐梯の自然の変化や利用実態等を調査し、その変化を定期的に観測するモニタリングを実施しています。また、磐梯山の貴重な高山植物への影響が危惧される外来植物コウリンタンポポや生態系への影響が危惧される特定外来生物ウチダザリガニ二等が裏磐梯にも多くみられ、自然環境に影響を与えるような特定外来生物の防除活動を実施しながら調査活動を行っています。

○まとめ

自然や文化に触れ合う機会を得ることで、さまざまな学びと発見があります。そして未だ秘めている歴史・文化の魅力や可能性を掘り起こし、宝として次世代へつなぐことは地域の魅力を守り、育んでいくための大切な取り組みです。貴方もぜひ「磐梯の宝」を発見し、学び、守り、伝えていきましょう！



木地師の里プロジェクト「守り狐」絵付け



裏磐梯トレッキング 松原湖畔探勝路



ばんだいの宝発見講座



裏磐梯湖沼群 水質調査



素材の価格〈工場着価格〉(2022年1月15日現在)

(単位：㎡当り千円)

区分	形量		材質	樹種	中通り地方		会津地方		浜通り地方		県平均		
	径(cm)	長さ(m)			当月	前月差	当月	前月差	当月	前月差	当月	前月差	
一般用材	小	5~9	4.00	並	スギ	10 (9~10)	0	(0~0)		11 (11~11)	1	10 (9~11)	0
		10~14		並	スギ	17 (16~18)	1	(0~0)		16 (14~18)	1	17 (14~18)	1
	中	14~22	3.00	並	スギ	18 (15~20)	1	12 (12~12)	0	17 (17~18)	△1	17 (12~20)	0
				並	ヒノキ	24 (18~30)	0	(0~0)		28 (26~30)	1	26 (18~30)	0
		20~28	6.00	並	スギ	20 (16~22)	0	10 (10~10)	0	21 (21~21)	0	18 (10~22)	0
				並	ヒノキ	30 (30~30)	△1	(0~0)		32 (32~32)	0	30 (30~32)	△1
			3.65	並	スギ	16 (16~16)	0	12 (11~13)	1	15 (14~17)	0	15 (11~17)	1
				4.00	並	スギ	15 (15~16)	0	11 (10~12)	0	15 (15~15)	△1	14 (10~16)
	1.80	並	アカマツ		13 (12~15)	1	(0~0)		11 (10~12)	0	12 (10~15)	0	
		外材	30以上	10.00	並	米ツガ	(0~0)		(0~0)		38 (38~38)	0	38 (38~38)
	並				米マツ	(0~0)		(0~0)		38 (38~38)	1	38 (38~38)	1
	28以下		3.80	並	エゾマツ	(0~0)		(0~0)		34 (34~34)	0	34 (34~34)	0
並				アカマツ	(0~0)		(0~0)		34 (34~34)	0	34 (34~34)	0	
4.00			並	カラマツ	(0~0)		(0~0)		34 (34~34)	0	34 (34~34)	0	
			並	カラマツ	(0~0)		(0~0)		34 (34~34)	0	34 (34~34)	0	
パルプ用材			並	マツ	7 (7~7)	0	(0~0)		(0~0)		7 (7~7)	0	
			並	広葉樹	10 (10~10)	0	(0~0)		(0~0)		10 (10~10)	0	

十二月の原木市場への入荷量は、前月比変わらず(前年比一九割増)の二六、一〇六立方メートルとなっている。
 販売量は、前月比一割減(前年比一七割増)の二五、八四五立方メートルとなっている。
 一月の価格は強保合いとなっている。

区分	形量		材質	樹種	会津共販		いわき	
	径(cm)	長さ(m)			当月	前月差	当月	前月差
一般用材	12以下	4.00	並	カラマツ	0 (0~0)	0	7 (6~8)	0
	13~14		並	カラマツ	0 (0~0)	△11	8 (7~8)	0
	16以上		並	カラマツ	0 (0~0)	△15	10 (8~11)	0

注) 1. 前月差の△印は値下りを示す。
 2. ()内は各地域の価格幅、()外は各地域の平均的価格を示す。
 3. 一般用材カラマツは工場着価格ではなく、福島県森林組合連合会の会津共販所・いわき木材流通センターの素材市売価格を示す。
 4. 各地域の価格について、異常値が生じた場合には県平均算出から除く場合がある。

例えば国見の国見バーガー、伊達の伊達鳥ラーメン、川俣の油パンなど現地に行かないと食べられませぬ。車やバイクで道の駅を訪ねてその場の空気を吸いながらゆっくり休憩をし、特色ある地元食をいただくのは最高です。

県北管内では北から「国見」「伊達」「つちゆ」「川俣」「安達」「ふくしま東和」「さくらの郷」と七箇所もあり、出張時やプライベートで利用させてもらっています。それぞれ個性があり、そこに行かないと食べられないものや手に入らないものがある、それが「道の駅」の魅力ではないかと思えます。



「道の駅」探訪記

福島県北農林事務所 藤原浩幸

「道の駅」は、道路利用者への安全で快適な道路交通環境の提供と地域の振興や安全の確保に寄与することを目的に「休憩機能」、「情報発信機能」、「地域連携機能」を要件に国土交通省が登録することとなっています。近年は特に沿道地域の文化、歴史、名所、特産物などの情報を活用し多様で個性豊かなサービスを提供するところが増えているようです。

またそこに行かないと手に入らないものとして、道の駅「伊達」で販売している伊達市農林業振興公社制作の伊達市産イノシシ革製品があります。イノシシの革は摩擦に強く、軽量で耐久性がありやわらかい感触で、写真(今年の干支である寅)のようなキーホルダーやパスケースなどに取って見てください。



そして令和四年四月二十七日には県北管内八つめの道の駅「ふくしま」が設置される予定です。ここだけの個性が、どのようなものになるのか、今からオーブンが楽しみです。

はなしの
ひろば

言の葉

大学構内の三〇〇ほど続く桜のトンネルを歩きながら（果たして自分は、これからこの農学部で勉強を続けていけるのだろうか…）やっと慣れ始めた、一年生の終わりに感じた不安だった。農学に深い興味を抱けなかったのだ。

しかし、二年生の時、必須科目に「植物生理学」があった。その中に葉の分類や形状を学ぶ講義があり、その時「言の葉」という葉はどんな形をしているのだろうか、とふと思った。「言葉」は、無数にあつて、表現の仕方によっては暴力とも化する。だが、「言の葉」は、人の心の有り様や心の赴くままに正直に形状を変えていくような気がする。揺れ動く人の気持ちで、濃淡深淺な緑色にもなるし、色づきもする。あるいは枯れはてて水に流されたり、風に飛ばされるかもしれない儚さをも感じる。そして、言の葉は、丁寧に「いちまい」「いちまい」と数えなくなる。差し詰め、言の葉を分類すると「人科 心亜科 感性属」だろうか。全く科学的根拠のない話だが、この一枚の葉が、農学へ興味を持つ小さな一歩になったことは間違いない。が、通学の小田急線の電車の中で、何故、植物心理学や動物心理学がないのだろう、と卒業までたわいもないことばかり考え続けていた。

朧月夜に、淡い月の光を受けた夜桜もなお淡く、学生時代を懐かしく思い出す。桜の花が散り終わり、新しい葉がでてきたら「言の葉」のあの続きに思いを馳せてみようと思う。

(都)

表紙の写真



「八重桜咲く作業場」

第18回ふくしま森林・林業写真コンクール特別賞（一般の部）受賞者 鈴木達也さん（白河市）
撮影場所：猪苗代町蚕養
コメント：八重桜が咲く作業場ののどかな風景

編集

発行人

福島県内四森林管理署
福島県森林・林業・緑化協会
福島県木材協同組合連合会
福島県農林種苗農業協同組合
ふくしま緑の森づくり公社
森林研究整備機構福島水源林整備事務所
福島県森林・林業・緑化協会
（福島市中町五番一八号県林業会館内）
飯沼隆
陽光社印刷株式会社
（定価 一〇〇円）

お知らせコーナー
桜‘はるか’Q&A

Q1 桜‘はるか’って何ですか？

A 東日本大震災の復興を願い、大河ドラマ「八重の桜」の主演を演じた綾瀬はるかさんにより命名された新しい品種の桜です。
‘はるか’は、国立研究開発法人森林研究・整備機構森林総合研究所により開発され、令和3年5月に種苗法に基づき品種登録されました。福島県では、震災からの復興と植樹活動による森林づくり意識醸成のシンボルとしています。

Q2 どんな桜ですか？

A 八重咲きで白色に近い淡い紅色をしています。開花時期は地域によりますが、郡山市の場合、例年4月中旬頃に開花しています（写真1～3）。

Q3 ‘はるか’を植えたいのですが、どのようにしたら、手に入れますか？

A 県庁森林計画課に要望書を提出してください。地方公共団体や緑化に関わる団体の皆様を対象に、随時要望を受け付けております（図1）。受付を開始した令和3年9月から令和4年2月までの期間で、300本以上の要望が寄せられ、苗木を配布しています。

なお、生産費・管理費などは負担していただきますのでご了承ください。詳細は森林計画課のHPをご覧ください。

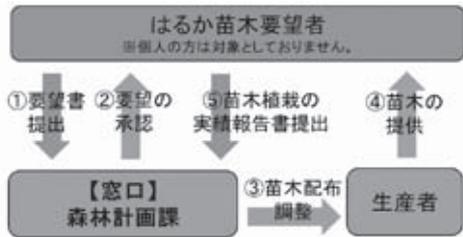


図1 桜‘はるか’の申し込みの流れ



写真1 蕾



写真2 開花期



写真3 満開頃

森林計画課TEL；024-521-7425

備えのパートナー 森林保険

こんな災害からあなたの山を守ります。



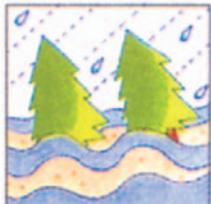
1 火災

山火事で受けた損害



2 風害

暴風による根返り、幹折れなどの損害



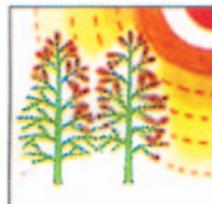
3 水害

豪雨、洪水による埋没、水没、流失などの損害



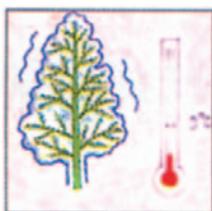
4 雪害

大量の積雪による幹折れ、根返りなどの損害



5 干害

乾燥による枯死などの損害



6 凍害

凍結、寒風などによる枯死などの損害



7 潮害

潮風、潮水浸水などによる枯死などの損害



8 噴火災

火山噴火による焼損、幹折れ、埋没、根返りなどの損害

《保険の対象となる森林》

竹林や人手の全く入らない天然林を除き、面積が0.01ha以上であれば、樹種、林齢に加入制限はありません。

《ご相談・お申し込みは》

◆福島県森林組合連合会
TEL024-523-0255(代)
または最寄りの森林組合

イワフジのGPシリーズ
グラップルプロセッサ

GP-35B

IWAFUJI
INDUSTRIAL CO., LTD.

製品情報



傾斜地に対応した全旋回チルトプロセッサ

- ・最大38度のチルト機能により傾斜地での作業性が大幅に向上
- ・全旋回ローテータにより油圧ホースが絡む心配不要
- ・サイドカット解除機能により曲がり材に対応
- ・大容量油圧システムと強化型送りモータによるパワフルな送材
- ・GP-8コントローラを搭載
- ・新開発のスタッドローラ(オプション)

For the future with forest

イワフジ工業株式会社

<http://www.iwafuji.co.jp/>



(仙台支店) 〒981-3133 宮城県仙台市泉区中央1丁目16-6
TEL 022-347-3689 FAX 022-347-3699
(本社・工場) 岩手県奥州市水沢字桜屋敷西5-1
(支 店) 札幌・東北・仙台・関東・中部・関西・中四国・九州



いざという時、あなたの備えは万全ですか？
福島ミドリ安全の防災対策

- 企業防災のご提案
- 保管スペースのご提案
- 災害時のゴミ対策



その日を恐れるのではなく、その日に備える



福島ミドリ安全株式会社
代表取締役社長 白石昇央

【本社】〒963-8550 福島県郡山市桑野4-1-22
TEL.024-923-5178・FAX.024-923-5211
E-mail info@f-midorianzen.co.jp



人と共に 緑と共に

For Professional



BCZ275GW-DC
排気量 25.4cc

ZHM1550RR



刈幅：1500mm 出力：27.5kW



SR3100



破砕径：200mm 出力：18.4kW

For Professional



GZ3950EZ
排気量 39.1cc

GZ4350EZ
排気量 43.1cc



ハスクバーナ・ゼノア(株) 福島県代理店
(有) うねめ林業機械

TEL(024)952-2657・FAX(024)951-7775 〒963-0211 郡山市片平町字新蟻塚108-1